



RENAISSANCE OF AGRICULTURE IN YAMANASHI 2011

やまなし農業ルネサンス 普及センターの活動報告

より効果の高い環境保全活動を支援



●塩前説明会

「中北地域普及センター」

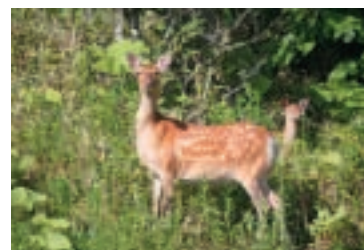
平成19年度から進められてきた農地・水環境保全向上対策が最終年度となり、本年度から新たに環境保全型農業直接支援対策が進められています。中北地域では関係機関の連携のもと、環境保全型農業に関心の高い農業者を中心に説明会等による推進を図ったところ、約57haでこの対策を活用した取り組みに至りました。この取り組みは個々の農業者による化学肥料・化学合成農薬の低減による環境にやさしい農業の実践に加え、地球温暖化防止、生物多様性保全に効果の高い営農活動を実践する農家に対して国・県・市町村が一体的に支援することとしています。本年度は有機農業における取り組みが中心となっていますが、今後は果樹産地においても環境保全効果の高い営農活動を継続的かつ広域に実施することが重要であると位置づけ、これらの取り組みを定着させられるよう各種情報提供や技術支援等を行っていく予定です。

環境保全型農業



獣塚くんライト設置技術研修会の開催

「峡東地域普及センター」



●熱心に研修する参加者



●研修会の様子

「深刻な野生鳥獣被害」

近年、中山間地域では、鳥獣による農作物への被害が多発しており、深刻な問題となっています。そこで、峡東地域野生鳥獣被害対策連絡会では、8月4日、甲州市塩山神金地区内のモモ園において、総合農業技術センターと連携し、昨年度、総合農業技術センターが開発したサル、シカ、イノシシ、ハクビシン等の様々な獣種に対応可能な安価で、短時間で設置できる電気柵「獣塚くんライト」の設置技術研修会を開催しました。

県、市、JA、猟友会、森林組合ら関係者約30名が参加し、支柱の設置や電牧線を挿していく実習を行いました。参加者の実習に取り組む熱心な姿から関心の高さが伺えました。今後、効果の確認と併せて普及が図られることにより、被害の軽減が期待されます。

地域農業を支える新たな担い手への支援

「峡南地域普及センター」



Pear



Prum



Prum-KIYO



●果樹栽培指導



●マッチングフェアに並ぶ商品



農業生産法人
(株) 斎庵

富士川町では、町の特産品として西洋なしが栽培されています。しかし、生産者の高齢化により産地の維持が課題となっています。そこで、地元の人材派遣会社が立ち上がり、平成22年に農業生産法人(株)斎庵を設立しました。

現在、同社では西洋なしの他にスモモの貴陽の栽培にも取り組んでおり、普及センターでは果樹栽培の技術習得に向けた普及指導を行っています。また、同社では生産物の加工品開発にも積極的に取り組んでおり、ジャムやジュースなどの販売も行っています。今後は母体である人材派遣会社の持つノウハウを活かし、自社農園で経験を積んだ人材を地域の農家に派遣する農作業受委託事業の取り組みも検討しています。このため、普及センターでは同社を地域の重要な担い手として位置付け、引き続き支援を行っていきます。

富士・東部地域の直売所活性化に向けた取り組み

「富士・東部地域普及センター」



●スイートコーン品種検討会



●「やさしい村」研修会

富士・東部地域は、少量多品目の農産物が各地域で栽培されていることから、直売所出荷を中心とした生産者が多い地域です。当普及センターでは、品目拡大や直売所運営など各直売所の期待に応える研修会や講習会を開催してきています。上野原SA直売所のやさしい村の研修会では、食品表示の関心が高く、74名が参加されました。また、大月市さるはし直売所では、毎月最終営業日に定期講習会を開催してきています。都留市農林産物直売所出品者組合では、スイートコーンの品種検討会を行ったところ、品種の違いによる外観や食味の差を確認でき、来年度の栽培につなげることができました。

さらに、都留市農林産物直売所生産組合の新しい活動として、都留文科大学の学生グループとの文化・技術交流を始めています。普及センターでは、生産者と学生を対象とした講習会をきっかけに、直売所への学生の参画や若者とのふれあいを通じて、生産者がいきいきと楽しみと生きがいを持って農業ができる環境づくりを目指していきたく考えています。



生産者がいきいきと楽しみと生きがいを持って...